



《次期学習指導要領での学校教育において 育成を目指す3つの資質・能力》

- 体系的で汎用性の高い「知識及び技能」の習得
- 変化の激しい社会にも対応できる「思考力・判断力・表現力」の育成
- 社会貢献につながる「学びに向かう力・人間性」の涵養



《生徒の実態》

- 一問一答式で知識を測る問題に強い。自分で考え、論理的に記述する問題に取り組むことに課題がある。
- 個性的、活動的な生徒が多い。表現の場を校内に限らず校外へ広げることが課題である。

《学校の指導推進体制》

- 信州北園プロジェクトを継承した探究活動を探究PT中心として企画立案し、企画調整会議を中心として、教科主任会、教科会、教育課程検討委員会において調整を行う。

《北園高等学校における資質・能力（コンピテンシー）の育成》

- 各教科・科目及び横断的な学習から、体系的で汎用性の高い知識・技能を習得する
- 自主的な学習態度を養い、思考力・判断力・表現力を育成する
- 自己肯定感を養い、人間性豊かに生きる能力・態度を育成する

《身に付けさせたい7つの力》

知識・技能の習得	体系化	それぞれの知識・技能がつながり、体系的な理解になっている。
	汎用性	習得した知識・技能を一つのことだけでなく、さまざまなことに活用できる。
思考力・判断力・表現力の育成	思考力	物事をクリティカルに考え、問題意識を持つ習慣を身に付ける。
	判断力	情報を収集し、知識や他者の意見を参考にし、行動を決めていく習慣を身に付ける。
	表現力	自分の考えを、わかりやすく他者に伝える方法を身に付ける。
学びに向かう力・人間性	実践力	興味・関心を持ち、自分の考えに基づき計画し、実行する力を身に付ける。
	協働性	他者と協力し、一つ一つの事柄に取り組む態度を身に付ける。

学校の教育目標

『自由と責任を重んじ、 自立の精神に充ちた個性豊かな人間の育成』

自由には責任が伴うことを認識した、思いやりと規範意識のある生徒の育成を目指すとともに、その実現に努める。また、**探究活動、国際理解教育を充実**させて、広い視野で物事を考え**社会の発展に貢献する力**を育む。さらに、これからの変化する**グローバル社会において、自分で考え、自ら進む道を選択し、様々な分野で活躍できる**生徒の育成に努める。

育てたい生徒像

文系・理系の境界のない幅広い教養と骨太の学力を身に付け、習得した**知識・技能**を活用するとともに、**思考力・判断力・表現力**を育む。さらに、これからの社会において、他者に対して、自分の考えを表明し、適切な行動を選択できる力を持つ生徒を育成する。

また、進学指導推進校として、新しい**大学入学共通テストに対応できる教育課程を編成**し、国公立大学・難関私立大学への進学を目指す生徒を育成する。さらに、**探究を中心とした様々な教育活動**をとおり、自分の意見をまとめて他者に伝える能力を高め、**国公立大学への推薦入試等の多様な選抜にチャレンジする**生徒の育成も合わせて行う。

目標達成度評価基準（ルーブリック）表

7つの力	S	A	B	C
体系化	習得した様々な知識・技能が結びつき、体系化された理解になっている。	習得した様々な知識・技能を教科横断的につなげることができる。	習得した複数の知識・技能をつなげることができる。	知識・技能の習得が不確かなため、複数の知識・技能をつなげる前段階である。
汎用性	習得した様々な知識・技能が、汎用性高く、広く活用できる。	習得した知識・技能が一つの用途だけでなく、様々な用途に広く活用できる。	習得した知識・技能を一つの用途だけでなく、他の用途に活用できる。	知識・技能の習得が不確かなため、他の用途に活用する前段階である。
思考力	自ら見出した問題点に対して論理的に考え、適切な解決に導く考えを持つことができる。	問題点に対して論理的に分析し、解決策を考えることができる。	問題点に関して自分で考えることができる。	問題点に関して自分で考えようとしている。
判断力	知識や他者の意見を根拠にして、自分で考え、情報を収集して最適な判断ができる。	知識や他者の意見を根拠にして、自分で考え、情報を収集して判断ができる。	自分で考え、情報を収集して判断することができる。	自分で考え、情報を収集して判断しようとしている。
表現力	相手の立場に立ち、工夫してわかりやすく伝えることができる。	わかりやすく、記述や説明をすることができる。	他者に記述や説明をすることができる。	他者に記述や説明をしようとしている。
実践力	計画に基づいて、自発的に実行し、結果を次の課題に応用できる。	計画に基づいて、自発的に実行に移し、結果を振り返ることができる。	計画に基づいて、自分で考え、実行できる。	計画に基づいて、自分で考え、実行しようとしている。
協働性	他者と協力して、集団の意見をまとめ、別の事象にも対応することができる。	自ら働きかけ、他者と協力し取り組むことができる。	他者と協力して取り組むことができる。	他者と協力して取り組もうとしている。

※教育活動の種類や活動内容により、身に付ける力の種類や達成度評価基準は異なることがある

《入学者選抜における求める生徒像（アドミッション・ポリシー）》

- **【確かな学力】** 中学校での学習活動に意欲的・自主的に取り組んで成果を上げ、その旺盛な知識欲・探究心によって、今後の学習活動でも成果が見込める生徒。
- **【リーダーシップ】** 将来に対して明確な目標をもち、確かな学力を礎として、知・徳・体のバランスの取れたリーダーとなる気概をもつ生徒。
- **【積極性】** 学校行事、部活動、生徒会活動等の課外活動に積極的に参加した実績があり、将来も諸活動に積極的に参加する意志のある生徒。

《基本方針（カリキュラム・ポリシー）》

- **【教育課程の編成】** 文系・理系の境界のない幅広い教養と骨太な学力を身に付けるための教育課程を編成するとともに、信州北園プロジェクトを継承した探究活動を中心に据えた学習活動を展開する。
- **【キャリア教育の充実】** 進学指導推進校として希望進路の実現を支援するとともに、変化する社会に対応できる生徒を育てる。
- **【言語活動の充実】** 様々な教育活動において、思考力・判断力・表現力をつけるとともに、コミュニケーション能力を育てる。
- **【理数教育の推進】** 「理数研究校」として、最先端の科学に触れる機会を設けるとともに、専門研究機関や大学と連携し生徒の知的探究心や論理的思考力を育むため、探究活動を重視した取組を実施する。
- **【国際理解教育の推進】** オーストラリアの語学研修や第二外国語教育を充実させ、「海外学校間交流推進校」として相互交流を通じて、多様な文化を尊重できる態度を育み、グローバル人材の育成に努める。
- **【行事、部活動の活性化】** 体育的行事や特別活動、部活動等を通して、体力の向上に努め、人間性の豊かな生徒を育てる。

《生徒の学修成果目標》（※学習「習い学ぶ」、学修「学んで身に付ける」）

- **【能動的な学習】** 自ら進んで、学習する態度を身に付ける。
- **【対人関係の構築】** 効果的なコミュニケーションスキルを身に付け、適切な対人関係を築くことができる。
- **【チャレンジ精神の醸成】** 自信をもち、様々なことに対して、積極的に挑戦する意思と意欲をもち行動することができる。